

# Aii

パラオ語で「こんにちは」  
Aii (アリー)

# 2015. 8

みなさんアリー！

今回は、私が住む、バベルダオブ島について紹介します。

## ■ バベルダオブ島とは？ ■



バベルダオブ島は、パラオの中で一番大きな島で、パラオの総面積の約7割を占めています。南北に約43km、東西の幅は最大で約16kmという細長い形をしています。

この広大な島に、人口はたったの約3500人(パラオの人口の約2割)。島のほとんどは、熱帯雨林のジャングルや草原、西海岸にはマングローブが生い茂る湿地が点在し、豊かな緑に覆われています。

また、このバベルダオブ島には、今でも謎に包まれている遺跡群が点在しています。



『ケズ』ピラミッド型をした遺跡



『ストーンモノリス』

不可思議な石柱が無造作に並ぶ遺跡群

## パラオクイズ！！

Q バベルダオブ島の別名は何でしょう？

1. ホッカイドウ (北海道)
2. ホントー (本島)
3. ホンシュウ (本州)

正解は

2の“ホントー”です。パラオ人は、バベルダオブ島のことを本当に“ホントー”と呼んでいます。

例文 日本語：「私はバベルダオブ島に行きます。」

パラオ語：「アク モラ ホントー。」

## バベルダオブ島と戦争

1914年から約31年間日本が統治していた時代、日本人によっていろいろな建物があちこちに建てられました。右の写真の建物はトーダイとよばれ、その名の通り、灯台跡が今でも残っています。

しかし、第二次世界大戦が始まり、パラオの南部にあるペリリュ一島（今年4月に天皇皇后両陛下が訪れた島）が激戦区となり、

大きな被害をもたらされたと大きくとりあげられています。実は、このバベルダオブ島も戦争の被害に遭った島の一つなのです。



空爆によって、崩れかかっており、壁には銃痕が残っている。



高射砲



防空壕

島のあちこちに、今でも防空壕や高射砲などの銃器が残されています。

## バベルダオブ島と旭川

日本が統治していた時代、多くの日本人がパラオに移り住んできました。バベルダオブ島には、移住してきた日本人が開拓した、清水村、大和村、瑞穂村、そして、朝日村という村があったという記録が残っています。

その朝日村とは、朝日村を開拓した人のほとんどが、旭川から移住した人だったため、『旭村』→『朝日村』という名前が付いたという話です。



のりすてられた車

### 朝日小学校の校門跡



それぞれの村に、日本人向けの小学校が建設され、どの学校にも校門が設置されていたようです。学校の土台と校門はコンクリートでできているため、今でも残っています。

これらの村は、今は、全くと言っていいほど、昔ここに村があったことがわからないくらいに、ジャングル化してしまっています。しかし、先日ここを探検してみると、民家は木製だったため、家の残骸は何一つ残っていませんでしたが、当時使っていたと思われる車の残骸や、ドラム缶、鍋、ビール瓶、茶碗など、鉄製品やガラス製品がところどころに転がっており、昔ここで生活していた証拠が今でも残っていました。ジャングルをしばらく歩いていくと、開けた草原が突然現れ、ここは、当時の日本人が開拓したパイナップル畑の跡なのではないかと想像を膨らませます。



パイナップル缶詰工場跡



ドラム缶と鍋